

# 中高生 TIMES

タイムズ

筋肉内注射

吸入麻酔

分娩の介助

## 獣医学部の実習 模型で

獣医学教育では動物の検査、治療法を学ぶため生体を使用する実習が行われているが、最近では動物福祉の観点から精巧な模型(モデル)や映像を使った実習に切り替える動きがある。山口大共同獣医学部(山口市)はこのほど、クラウドファンディングを活用して約470万円を集め、馬と犬のモデルを購入した。

同大は共通カリキュラムを維持する原則としてやめる方針だとつ鹿兒島大と共に、国際水準の獣医学教育を実現するため、欧州獣医学教育機関協会(EAEVE)による国際認証を来年取得するのを目標としている。

佐藤晃一・山口大共同獣医学部長は「EAEVEは動物福祉を非常に重視しています」と説明。2021年度までに、開腹・開胸手術など動物を傷つける実

習を原則としてやめる方針だとつ鹿兒島大と共に、国際水準の獣医学教育を実現するため、欧州獣医学教育機関協会(EAEVE)による国際認証を来年取得するのを目標としている。

肉内注射や採血などの練習ができる馬モデル、子宮や卵巣に接触して妊娠の状態を学ぶ牛モデル、吸入麻酔の練習をする犬モデル、牛の胎児モデルを使って分娩の介助を練習できるものなどがある。

佐々木直樹教授(大動物臨床



人工授精や妊娠判定を練習するモデル。牛(左)と馬



気管挿管の練習ができる犬モデル

### 山口大 動物福祉を重視

等身大の馬モデル。注射の練習もできる＝山口大共同獣医学部



学は「学生はモデルで十分練習してから5年生前期に一定の知識・技能水準を見守る共用試験を受けます」と話す。マウス、ラットの生体は今も使用しているが、今後、モデルを購入し教育効果を見極めながら代替可能な検討する。実験動物を減らした上で、病気の動物などを診る臨床実習にも力を入れ始めた。全国の獣医学部は「献体は欧米ではすぐ集まるが、日本ではなかなか難しい。必要性について理解を得ていきたい」と話している。

学部系大学では昨年、参加型臨床実習がスタート。従来の見学中心の授業を見直し、学生が教員指導の下でペットや農家の牛の身体検査、投薬などに携わることが求められている。山口大は民間の動物病院で学生が経験を積み制度をつくらせた。県と協定を結び、保護猫に対する不妊去勢手術の実習も行っている。

【時事通信社 配信】